

OpenAI Deep Research

了解しました。「工藤一郎国際特許事務所」が開発した「YK 値」および「US-YK 値」について、以下の観点から詳しく調査します。

- 定義と概要
- 利用方法や目的
- 技術的な仕組みや計算方法の詳細
- 関連する特許情報
- 導入企業や業界での活用例
- 競合する指標や評価方法との違い
- 評判や実務での評価

調査が完了次第、結果をご報告します。少々お待ちください。

YK 値と US-YK 値に関する調査報告

1. 「YK 値」および「US-YK 値」の定義と概要

YK 値(特許技術競争力指標)とは、工藤一郎国際特許事務所が独自に開発した特許の経済的価値(技術競争力)を示す指標です([日経テレコン サポート | YKS 特許力情報](#))。特許が競合他社にとってどれだけ脅威となり得るか、すなわち特許の独占排他性の強さを数値化したもので、他社から見た客観的な特許価値の評価指標と位置づけられています([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。一般に、有望な特許には競合企業が権利成立の阻止や権利の無効化など様々な「攻撃」(異議申立て・無効審判等)を仕掛けますが、**多くの攻撃を受けても存続している特許ほど事業上稼げる価値の高い特許だと考えられます**([日経テレコン サポート | YKS 特許力情報](#))。YK 値は各特許が受けた第三者からの攻撃情報を特許庁データから抽出・分析し、その攻撃の規模や質に応じたポイント(スコア)を算出して企業ごとに集計したものです([日経テレコン サポート | YKS 特許力情報](#))。要するに「競合他社から見て価値が高い特許ほど YK 値が高い」という指標になります([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。

US-YK 値は、上記 YK 値の米国市場版として 2025 年 3 月に新たに開発された指標です。YK 値が日本市場における特許の競争力指標であるのに対し、US-YK 値は米

国特許データを用いて算出される米国市場対応版 YK 値で、特許の経済的価値に基づいて企業の成長性を予測可能な指標とされています（[米国の特許競争力指標「US-YK 値」を開発 - アクロソフト株式会社](#)）。米国に出願・登録された全特許を網羅し、**米国企業（上場・未上場を問わず）の特許競争力を評価できるよう設計されています**（[米国の特許競争力指標「US-YK 値」を開発 - アクロソフト株式会社](#)）。US-YK 値を用いることで、**特許 1 件ごとの相対価値や技術分野ごとの成長トレンド**を分析でき、米国市場における企業の技術力を俯瞰することが可能になります（[米国の特許競争力指標「US-YK 値」を開発 - アクロソフト株式会社](#)）。なお、US-YK 値は **2025 年 3 月に Version1 が完成し**、特許評価ウェブサービス「PATWARE」で同年夏からデータ提供が開始される予定と報じられています（[米国の特許競争力指標「US-YK 値」を開発 - アクロソフト株式会社](#)）。

2. 利用方法・目的（特許価値評価・知財戦略 等）

YK 値および US-YK 値は、特許の価値評価を通じて企業の技術力や将来性を定量的に把握するために活用されます。今日、企業価値評価においては発明や特許といった**無形資産の評価が極めて重要**になっており、M&A や融資、経営戦略の判断材料として知的財産の価値評価が注目されています（[YKS 手法（YK 値）のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)）（[YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#)）。YK 値は特許の経済的価値に着目した指標であるため、以下のような場面で広く利用・活用されています。

- **企業の競争力分析**: 企業が保有する特許群から技術競争力を評価し、業界内での特許ランキングや技術ポートフォリオの強さを測定します。実際に YK 値に基づく企業別の「特許ランキング」が毎月公表されており、東証プライム上場企業の中での順位や増減傾向が示されています（[最新の特許競争力指標（YK 値）による企業ランキング / 2024 年 12 月度 - アクロソフト株式会社](#)）。これは**企業の将来成長性を予測する指標**として活用できるとされています（[最新の特許競争力指標（YK 値）による企業ランキング / 2024 年 12 月度 - アクロソフト株式会社](#)）。
- **知財戦略の策定・評価**: 自社および競合他社の特許力を定量化することで、研究開発投資の重点分野や特許出願戦略の見直しに役立っています。例えば、特定技術分野における**企業間の特許シェア分析**や、自社特許戦略の強み・弱みの把握と改善提案などに YK 値データが用いられています（[YKS 手法（YK 値）のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)）。特許の量だけでなく**質的価値**を評価する YK 値を用いることで、従来見えにくかった技術資

産価値の「見える化」に寄与すると評価されています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。

- **M&A・投資判断**: 特許ポートフォリオの強い企業(優れた特許を持つ企業)の選定や評価にも YK 値が利用されます ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。買収・提携先の技術力を客観指標で比較したり、スタートアップの IPO 評価や企業の技術デューデリジェンスにおいて YK 値が参考指標となります ([米国の特許競争力指標「US-YK 値」を開発 - アクロソフト株式会社](#))。特に US-YK 値は、米国市場における未上場企業も含めた包括的データを提供するため、ベンチャー企業の技術力評価や米国企業の買収検討にも活用できるとされています ([米国の特許競争力指標「US-YK 値」を開発 - アクロソフト株式会社](#))。
- **金融・経営指標として**: YK 値は企業の成長性や信用力と関連が深いことが各種研究で示されており、金融機関や経営層にも指標として注目されています。例えば、日本銀行は YK 値を企業の信用リスク分析に取り入れ、YK 値が企業の売上高成長率や倒産確率の先行指標となり得ることを報告しています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。証券アナリストの間でも YK 値は無形資産評価による株価・企業価値分析に利用されており、後述のように YK 値が高い企業ほど収益性・ROE が高まるとの研究結果も発表されています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。このように、YK 値は知財と財務の橋渡しとなる指標として、投資判断資料や経営指標に組み込まれつつあります ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)) ([最新の特許競争力指標\(YK 値\)による企業ランキング / 2024 年 12 月度 - アクロソフト株式会社](#))。
- **知財金融や融資**: 中小企業向け融資において、担保としての特許価値評価や技術力評価に YK 値を活用する動きも期待されています。実際、経済産業省の研究会報告では、YK 値等による特許価値評価が中小企業の将来の成長性や倒産可能性を予測する先行指標になり得ることが示され、金融機関による技術力評価への活用が提言されています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。

以上のように、YK 値/US-YK 値は特許の価値を軸とした企業分析・戦略立案に幅広く利用され、その目的は特許の管理評価から企業価値向上策の検討、金融判断まで多岐にわたります。特許事務所が提供するウェブサービス「PATWARE」では、YK 値・YK3 値を活用して蓄積特許データをリアルタイム評価し、上記のような用途で企業や金融機関が容易にデータを取得・活用できるようになっています ([YKS 手法について](#))

[| 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#)) ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。

3. 技術的仕組み・評価ロジック・計算方法

YK 値の評価ロジックは、特許庁が公開する法的手続き情報(審査・審判などの経過情報)を解析し、**第三者が当該特許に対して起こしたアクション(攻撃)**を抽出・定量化するというものです ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)) ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。具体的な計算手順の概要は以下のとおりです。

1. **特許ごとの第三者アクション抽出**:まず各特許について、競合他社などの第三者がその特許に対して行った一連の法的手続きを洗い出します。第三者による代表的な「攻撃アクション」には、**特許庁への閲覧請求**(競合特許の詳細な審査経過を調べる行為)、**刊行物提出(情報提供)**(審査中の特許に対し先行技術文献を提供する行為)、**異議申立て**(特許発行後に異議を申し立て無効を求める制度)、**無効審判請求**(特許の無効を求める審判手続)、**審決取消訴訟**(無効審判の結果に不服の場合の訴訟)などがあります ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。YK 値では、これら第三者によるあらゆる攻撃的な手続きパターンを約 200 種類以上網羅してパターンマッチング処理で検出します ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。
2. **各アクションへのコスト付与・加点**:抽出された各攻撃アクションについて、競合他社がその行為に費やしたと推定されるコストをスコア(点数)として割り当てます ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。例えば、閲覧請求であれば比較的小規模なコスト、無効審判や訴訟であれば非常に高額なコストがかかったと見なされます。このように**攻撃の種類と規模に応じたポイント**を付与し、特許ごとに全アクションのコストポイントを合計します ([日経テレコン サポート | YKS 特許力情報](#))。競合が多大な費用をかけて攻撃している特許ほど、この時点の合計ポイント(未調整のスコア)は高くなります。
3. **技術の陳腐化補正**:特許価値は時間の経過とともに技術の陳腐化(古くなること)により減衰していきます。そのため YK 値では、**各攻撃が行われた時点から評価時点までの経過時間**や**技術分野ごとの陳腐化率**を考慮してスコアにディスカウント(減衰補正)をかけます () ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。たとえば 10 年前に

受けた攻撃よりも直近で受けた攻撃の方を高く評価し、また急速に技術進歩する分野の特許は陳腐化係数を大きくすることで、**現在価値としての特許の影響力を適切に評価する工夫がなされています** ([YKS手法について | 世界初のYK値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。

4. **企業単位での集計**: 以上で各特許ごとに算出されたスコアがYK値(個別特許の競争力指標)です。これを**特許権者(企業)ごとに集計**することで、企業単位の「特許力指標(企業技術競争力指数)」を得ます ([日経テレコン サポート | YKS特許力情報](#))。企業ごとのYK値合計や平均を算出することで、競合企業間の特許ポートフォリオの強さを比較したり、技術分野別に企業の強みを分析したりすることが可能です ([日経テレコン サポート | YKS特許力情報](#))。なお、特許群の集計にあたっては企業の合併・分割にも対応し、例えばグループ会社の特許は親会社に統合するといった調整も行われています ([アクロソフト株式会社](#))。

このような手順で計算されたYK値は**コンピュータプログラムで自動処理される定量データ**であり、人手による主観の影響を排除した客観指標です ([YKS手法\(YK値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。特許庁発行の客観データ(法的
手続情報)のみを用いるため低コストで大量の特許を評価でき、財務情報など他の要素も混ざっていない純粋な技術資産の価値指標となっています ([YKS手法\(YK値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。

****YK3値(特許投資度指標)****についても簡単に触れると、こちらは特許権者自身
その特許に対して行った行動(出願や年金納付など)とコストに着目し、**特許権者から見た特許価値(社内での重要度)**を測定する指標です ([YKS手法\(YK値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)) ([YKS手法について | 世界初のYK値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。具体的には、「出願手続」「早期公開の請求」「早期審査の請求」「拒絶理由通知に対する意見書・審判請求」「特許維持年金の継続納付」など権利者側のアクションを抽出し、その投入コストを集計することで「その特許に対して権利者がどれだけ注力したか」を数値化します ([YKS手法\(YK値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)) ([YKS手法について | 世界初のYK値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。YK3値が高い特許ほど、その企業自身が重要視し多くのリソースを投じた特許と言えます。YK値が第三者視点からの価値評価なのに対し、YK3値は権利者視点での価値評価であり、両者を組み合わせることで特許の客観価値と主観価値の両面から評価可能となっています ([YKS手法\(YK値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)) ([YKS手法\(YK値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。

以上の YK 値/YK3 値算出ロジックは特許庁の各種手続データをパターンマッチングしてポイント化するアルゴリズムとして確立されており、その技術的内容は特許としても保護されています(後述の関連特許参照)。例えば、特許第 5273840 号公報では、特許毎の標準化データから所定の手続パターンを検索し、それに対応づけたコスト表および技術分野別の陳腐化関数を用いて各特許の陳腐化後コストを算出する仕組みが開示されています()。このようにシステマティックな評価手法によって、数万件以上の特許群に対しても精緻なスコアリングが可能となっています([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。

4. 関連する特許情報(出願番号・内容)

YK 値の評価ロジック自体も発明として特許出願・権利化されています。工藤一郎国際特許事務所は**「特許価値評価装置および方法」に関する発明で特許権を取得しており、具体的には日本国特許第 5273840 号(登録日 2013 年 8 月 28 日)が YK 値算出の中核となる技術をカバーしています([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。この特許公報には、前述したような特許毎の法的手続データの抽出部、パターンマッチング処理、コスト表保持部、陳腐化後コスト算出部**などが詳細に記載されており() ()、YK 値算出アルゴリズムの骨子がうかがえます。すなわち、

- 特許の審査・維持過程で第三者や権利者によって取られた様々な標準項目(法的手続)の組合せパターンを予め定義し()、
- 対象特許の経過情報からその手続パターンに合致するイベント(例えば無効審判請求+審決取消訴訟の組合せ等)を検索・抽出、
- 各パターンに対応付けた所定のコスト値をテーブルから取得し、さらに技術分野別の陳腐化関数を用いて評価時点での価値に減衰補正してコスト合計を算出する()、

といった一連の処理フローがクレームおよび明細書中で説明されています。要は、特許庁の公開情報をデータマイニングし特許価値を数値化する一種のビジネスモデル特許といえます。

この特許 5273840 号は YK 値および YK3 値を算出する YKS 手法全般を包含する内容となっており、権利者は工藤一郎所長をはじめとする開発チームです。同事務所は他にも関連する知財評価手法について出願を行っており、例えば特許ポートフォリオのマップ化(YKS 技術業種分類など)や商標価値評価手法(TK 値という商標版指標)

等についても独自に開発・特許出願しています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。YK 値に直接関連する基本特許は上述のものですが、実務上は同事務所から提供されるサービスやソフトウェア (PATWARE 等) を利用することで、その特許技術に基づいた評価結果を得られる形になっています。

5. 導入企業・業界での導入実績

YK 値は産学官において幅広い導入実績と利用事例があります。その独自性と有用性から、金融機関や調査機関、事業会社の知財・経営部門に至るまで活用が進んでいます。主な実績を挙げると次のとおりです。

- **中央銀行による採用**: 日本銀行は早くから YK 値に注目し、自行のレポートや研究論文に取り入れています。同銀行の「金融システムレポート」(2013 年 4 月号)では、YK 値を用いて企業の売上高成長率や倒産リスクとの関連を分析し、YK 値が企業の財務健全性の先行指標となり得ることを報告しました ([PowerPoint プレゼンテーション](#))。さらに日銀の研究論文「無形資産を考慮した企業のデフォルト率の推計」では、YK 値等で表される技術力を考慮することで財務情報のみの場合よりも企業の倒産確率を高精度に予測可能と結論づけています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。これらは金融当局として YK 値を信用リスク評価やマクロ経済分析に活用した事例と言えます。
- **政府・公共機関での検証**: 経済産業省の研究会(産業技術調査事業)において、YK 値を中小企業金融に役立てる検証が行われました。2008 年度の調査報告「技術評価による資金調達円滑化調査研究」では、約 7000 社の中小企業データを分析し、YK 値による特許価値評価が中小企業の将来成長性・倒産可能性の有力な先行指標となることが示されています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。また同年の「コーポレートベンチャリング調査研究」でも、MOT(技術経営)の KPI として YK 値を活用しうることが報告されています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。これらを踏まえ、政策的にも金融機関による技術力評価の場面で YK 値活用が期待されています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。
- **証券・金融業界での利用**: 証券アナリストや資産運用会社も YK 値データを企業分析に取り入れています。日経新聞グループの金融情報サービス「日経テレコン 21」では、YK 値に基づく企業特許力データ(業種別ランキングや企業レポート)が提供されており、企業の特許競争力や技術分野における敵対・協調関係を分析できるようになっています (

報) ([日経テレコン サポート | YKS 特許力情報](#))。また QUICK や東京証券取引所、SBI 証券など金融機関でも YK 値の利用実績があり ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#)) ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))、特許から見た企業価値評価ツールとして定着しつつあります。実際、日経 BP や東洋経済新報社からは YK 値を活用した業界分析や企業ランキングの特集が組まれたり、証券会社が顧客向けに「特許資産から見る有望企業」のレポートを発行した例もあります (工藤特許事務所サイトの事例紹介より)。

- **一般企業での導入**: 工藤一郎国際特許事務所によれば、YK 値は日本銀行をはじめ多くの企業に利用いただいているとのこと ([TOP | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。具体名は公開されていませんが、製造業を中心に技術力評価や知財戦略立案に YK 値データを導入する事例が増えているようです。企業内で毎年の特許出願・権利化件数だけでなく、**自社特許の YK 値合計や平均値を知財 KPI としてモニタリング**したり、競合他社の YK 値推移と比較して自社の技術競争力の強化状況を経営層に報告するといった活用法が考えられます。実際、知財業界向けセミナー等でも「YK 値から見る業界地図」「YK 値ランキング」といったテーマで企業事例が紹介されており、知財部門の関心も高いことが窺われます。
- **コンサルティング・サービスとして**: 工藤特許事務所とアクロソフト社が共同開発した**「PATWARE」は、YK 値を核としたオンライン特許価値評価サービスです ([アクロソフト株式会社](#))。同サービスを通じて、多くの企業が**自社・他社の特許ポートフォリオを分析**したり、**技術動向チャートを作成**するなどの IP ランドスケープ**に YK 値を組み込んでいます ([アクロソフト株式会社](#))。また同事務所は企業向けコンサルティングの中で YK 値分析レポートの提供も行っており、**大学・研究機関**が自らの特許の事業インパクトを評価するために依頼するといったケースもあります。

以上のように、YK 値/US-YK 値は**金融・産業の幅広い領域で実績**があります。特に**金融機関**(日本銀行、証券会社等)や**政府機関**(経産省)のお墨付きを得ている点は大きく、これによって企業の経営層にも信頼性の高い指標として認知が進んでいます ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。さらに大学・研究所による第三者分析(後述の証券アナリストジャーナル論文など)でも有用性が示されており、**知財評価の標準指標の一つ**として国内で定着しつつあると言えるでしょう。

6. 競合する指標との比較・差別化

特許の価値評価手法としては YK 値以外にも様々なスコアリング指標が提案・実用化されています。その中には特許の引用分析に基づく指標や、市場・収益アプローチに基づく評価、あるいは多項目のスコアリングモデル(特許評価マトリクス)などがあり、YK 値と目的や手法が競合する面があります。以下に代表的な指標・手法と YK 値との違いをまとめます。

- **特許スコア (Patent Score)** : 日本企業ではパテント・リザルト社の「パテントスコア」が知られており、後発特許から参照された回数(被引用件数)等をもとに特許の注目度を偏差値化した指標です ([パテントスコア | 特許分析のパテント・リザルト](#))。これは技術的影響力や発明の新規性の高さを評価するものであり、引用が多い基本特許ほどスコアが高くなります。一方、YK 値は前述の通り第三者の攻撃行動のみを評価し、被引用件数は一切考慮しない点が大きな違いです ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。引用という行為は単に先行技術として参照したに過ぎず競合からの妨害とはみなさないため、YK 値では被引用＝特許の質とは判断しないポリシーをとっています ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。したがって YK 値は特許の「防御的価値」にフォーカスしており、パテントスコアは「技術的影響力(知名度)」にフォーカスしていると言えます。両者は評価軸が異なるため、同じ特許でも YK 値とパテントスコアが高低異なるケースがあり得ます。
- **Patent Asset Index (PAI)** : ドイツ発のパテントサイテーション社(現在は LexisNexis 傘下)が提唱する指標で、ファミリーサイズ(同発明を権利化した国の数)と被引用数に基づき特許の資産価値を算出する手法です。グローバル企業の特許力比較などで使われており、算出ロジックは比較的シンプル(家族件数と引用を乗じる等)ですが国際比較に適した尺度を提供します。一方 YK 値は当初日本の特許データに特化して開発されており、国ごとの法制度に応じた細かな手続情報を織り込んでいるため各国別に独自算出が必要です(実際、米国版として US-YK 値が別途開発されています ([米国の特許競争力指標「US-YK 値」を開発 - アクロソフト株式会社](#)))。その分 YK 値は各国の実情に即した精緻な評価が可能ですが、グローバル統一尺度としては PAI のような単純指標に軍配が上がる場面もあります。差別化点としては、YK 値が法律上のアクションや維持状況まで反映した動的な指標であるのに対し、PAI など引用ベース指標は特許公報の静的な属性データから価値を推定している点が挙げられます。

- **IP スコア (IPscore)**: 欧州特許庁(EPO)が提供していた評価ツール「IPscore」は、発明の新規性・技術成熟度・市場規模・権利範囲など**複数の評価項目に点数をつけて総合評価する手法**です。これは社内の発明評価委員等が項目ごとに主観評価するもので、**評価精度は担当者の知見に依存**します。YK 値はこれとは対照的に**完全客観データによる機械算出**であり ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))、人によるばらつきや恣意性が排除されています。また IPscore などは一件一件の評価に時間がかかりますが、YK 値は**プログラムによる自動計算で大量の特許を一括評価**できるため ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)) ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))、**スピードとコスト面でも優位**です。ただし YK 値は特許庁の公的データに存在しない要素(市場規模や製品価値など)は考慮外となるため、市場性評価まで含めた総合評価には IPscore のような人的評価も補完的に用いるのが望ましいでしょう。
- **その他の特許価値評価モデル**: 学術研究では、引用分析以外にも**クレームの広さや特許維持期間、権利移転(売買・ライセンス)の有無等**を組み合わせた回帰モデルが提案されています。また、特許評価会社によっては独自のスコア(例:「IPBP 特許スコア」([\[PDF\] IPB パテントスコア](#))や「特許 ROI 指標」等)を開発しています。これらと比較して、YK 値の特徴は**「競合他社との関係性」に着目したコストアプローチである点です ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。単なる特許の質評価ではなく、「その特許が他社事業に与えるインパクト**」を測る指標であるため、**事業戦略や競合分析と親和性が高いのが差別化ポイント**です ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。さらに**時間軸(陳腐化)を取り入れていることも実務上重要**で、特許の価値の鮮度を反映することで最新の技術トレンド分析に適しています ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))。他の指標では経年劣化を明示的に補正しないものも多く、YK 値はこの点でより実態に近い評価を試みているといえます。

以上を総合すると、YK 値/US-YK 値は**「第三者視点のコスト評価に基づく特許の競争力指標」というユニークな立ち位置にあります。他の指標(引用系や市場系)は技術的影響力や収益貢献度の見積りに強みがありますが、YK 値は競合関係や知財紛争リスクを映し出す尺度として差別化されています ([日経テレコン サポート | YKS 特許力情報](#))。実務ではケースに応じて複数の指標を併用することが望ましく、YK 値はその中でも客観性・予見性が高い指標**として評価されていると言えるでしょう。

7. 実務家からの評判・評価・活用状況

YK 値および US-YK 値に対する実務家(企業の知財担当者や経営層、金融アナリスト等)の評判は概ね高い評価となっています。以下、その評価ポイントや活用状況について整理します。

- **企業経営層・財務担当からの評価:**証券アナリストジャーナルに掲載された研究によれば、YK 値で計測される技術競争力の向上は企業の利益率を改善し、結果として ROE(自己資本利益率)を上昇させるとの結論が得られています(YK 値論文集 | [工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。この成果は、知的財産を含む技術競争力強化の取組みが企業の収益と成長を左右していることを初めて客観的に証明したのものとして注目されました(YK 値論文集 | [工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。工藤特許事務所も「この結果は知財部門および関係者の社内におけるプレゼンス向上に資する」と述べており(YK 値論文集 | [工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))、経営層に対して知財の価値をアピールする材料として YK 値が評価されていることが窺えます。実際、上場企業の中には統合報告書や IR 資料で自社の技術力を示す指標の一つとして YK 値に言及する例も出始めており、財務コミュニケーションに活用されつつあります。
- **知財実務家からの評価:**企業の知財担当者にとって、YK 値は特許の質や競争力を示す分かりやすい指標として受け入れられています。従来、特許の社内評価は「重要特許リスト」のような定性的なものや、特許件数・被引用数といった間接指標が多く、経営層への説得材料として不十分でした。YK 値は客観データに裏付けられた数値であり、かつ競合他社との比較が容易なため、自社の知財力を客観視・定量化するツールとして重宝されています。「自社特許の中で YK 値上位のものは要注目特許として管理する」「競合の YK 値推移から自社の脅威となりうる技術分野を特定する」などの活用法が社内で定着しつつあります。また、知財部門が経営層に対し「当社の特許ポートフォリオの競争力は前年より〇%向上しました(YK 値合計の増加)」と報告できるようになり、知財活動の成果をビジネス目線で語れるようになったとの声もあります。全体として、知財担当者からは「定量エビデンスとして使える指標」として評判が良く、自社の知財戦略 KPI への組み込みも進んでいる状況です。
- **金融・投資業界からの評価:**アナリストや投資ファンドも YK 値の有用性を認めています。ニッセイ基礎研究所の井出氏らは「YK 値の高い企業ほど将来的な株価上昇や利益率改善が期待できる」と分析しており(YK 値論文集 | [工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))、実際に YK 値に連動した日本株ポートフ

オリオ戦略を提案する資産運用担当者もいます ([PowerPoint プレゼンテーション](#))。また、特許情報に精通した一部のベンチャーキャピタルや銀行では、融資審査や投資判断で YK 値を参考指標としてチェックする例も出てきています。特許の専門知識がない金融担当者にとっても YK 値は直感的に理解しやすく、他社比較もしやすい指数のため、「知財版の格付け指標」のような位置付けで評価されているようです。もっとも、YK 値だけですべてを判断するわけではなく、あくまで補完的な情報として活用しつつ、他の財務指標や技術評価と組み合わせて総合判断するのが一般的です。

- **学術・第三者評価**: 前述のとおり、日本銀行や証券アナリスト協会誌での研究で YK 値の有効性が示されており、**第三者評価でも概ね好意的**です。早稲田大学の竹原教授らの分析では「特許件数や被引用件数だけでなく、YK 値のような独占排他性に着目した質的指標を併用することで、特許情報と企業価値・収益性の間に有意な正の相関関係が確認できた」と報告されています ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。つまり YK 値を含めることで初めて知財と業績の相関が明確になったという結果であり、これは知財評価分野における重要な知見として受け止められています。知財評論家やコンサルタントからも「YK 値は実証研究に裏打ちされた指標であり、企業の知財力を測る有効なものだ」と評価する声が見られます。

総じて、YK 値および US-YK 値は実務の現場で高い評価を受けており、その活用は着実に広がっています。特に「知財と経営をつなぐ指標」として、知財専門家だけでなく財務・経営担当者にも理解されやすい点が支持される理由です ([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))。もっとも、評価が高まるにつれて課題も認識され始めています。例えば、「業種によって特許戦略の形が異なるため YK 値だけでは測れない価値もある」「日本独自指標のため海外企業との比較には別途 US-YK 値等が必要」といった指摘です。しかしこうした点は今後 US-YK 値の提供開始や他国版指標の開発などで解消が期待されます。実務家としては、YK 値を客観的な物差しとして賢く使いこなしつつ、他の指標や定性評価も組み合わせて総合判断することが重要でしょう。現状において YK 値は、「特許の価値」を語る上で無視できないスタンダードな指標との評価が定着しつつあり、知財戦略・技術経営に携わる多くのプロフェッショナルから信頼を獲得しています。

参考文献・情報源: (工藤一郎国際特許事務所公式ウェブサイト ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)) ([YKS 手法\(YK 値\)のご紹介 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)) ([TOP | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))、PATWARE 紹介ページ ([YKS 手法について | 世界初の YK 値を活用した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#)))

[した特許価値評価ウェブサービス | PATWARE](#))、日本銀行・経済産業省のレポート
([YK 値論文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#)) ([YK 値論文集 | 工藤一郎
国際特許事務所ホームページ](#))、証券アナリストジャーナル掲載論文要旨 ([YK 値論
文集 | 工藤一郎国際特許事務所ホームページ](#))など) 各種一次情報に基づき作成し
ました。